

THANKS

(VOL. 262)

BUSINESS NEWS LETTER

発行日：2019年4月1日
発行者：有限会社サクスマインドコンサルティング
連絡先：〒359-0043
埼玉県所沢市弥生町 1792-10
TEL:04-2936-6149
E-MAIL：info@thanksmind.co.jp
<http://www.thanksmind.co.jp>

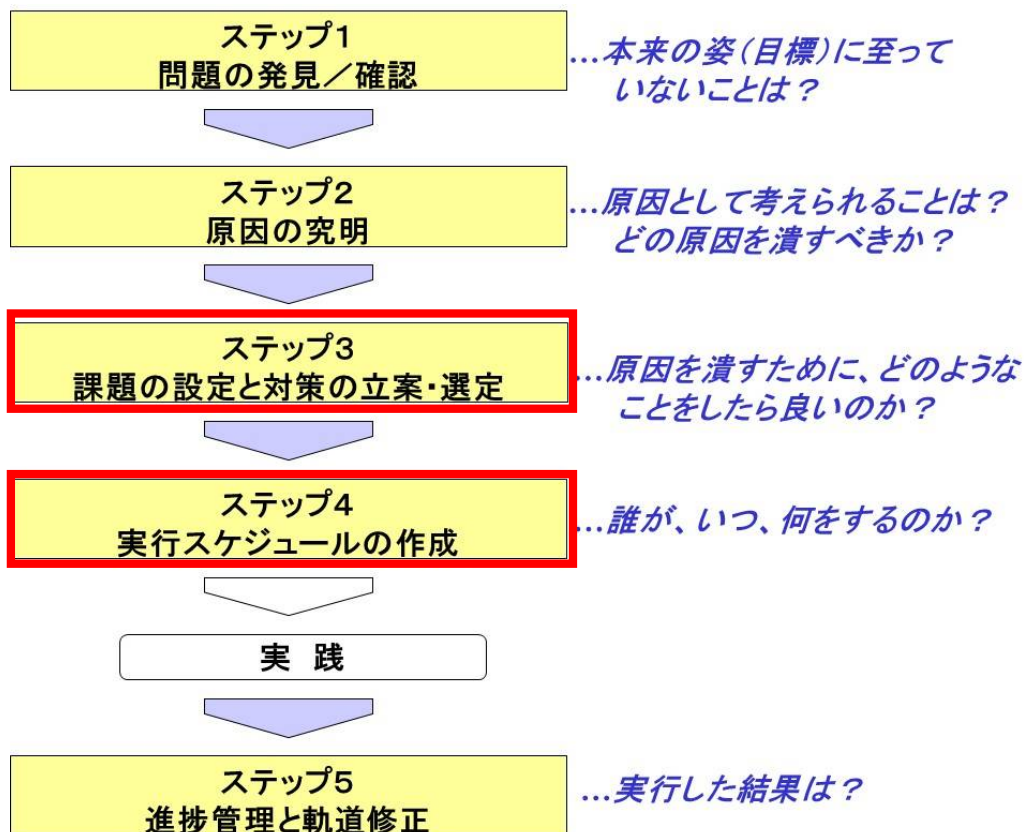
特集

「問題解決の基本⑧」・・・「発生型の問題」の解決（その7）

本誌では、「問題解決の基本」について特集しています。
前回は、「発生型」の問題を解決するためのステップ3の「課題の設定と対策の評価・選択方法」に入りました。
今回はその続きです。
列挙された対策案の選定方法について確認します。
なお、これまでの本誌のバックナンバーは、以下のサイトでご覧になれます。
<http://www.thanksmind.co.jp/newsletter.htm>

1. これまでの復習

＜発生型の問題解決の基本手順＞



(3) 実施する対策を選定する

列挙された対策を全てを行うことは、さすがに無理です。
 対策の中で、実際に行うものを選定する必要があります。
 それでは、どういう基準で評価し、選定すればいいのでしょうか？

選定に関しては、以下の2つの基準から評価します。

A：期待効果

・・・実践した時に、どれだけ課題解決に向けて効果が期待できるか？

B：実行容易性

・・・実践することが、どれだけ容易か？（費用、時間、その他）

上記の基準で、前ページの対策案を評価してみましょう。
 期待効果、実行容易性ともに5段階評価。
 ちなみに、どちらも主観的な判断です。
 期待効果は、「5」が最も期待が大きく、「1」が最も小さいです。
 また、実行容易性は、「5」が最もやり易く、「1」が最もやり難いという評価です。

		期待効果	実行容易性	選択			
<課題> 運動不足の解消	休日に運動する	仲間と運動する	ゴルフ	4	1		
		仲間と運動する	テニス	4	2		
		独りで運動する	スポーツジム	5	2		
		独りで運動する	ジョギング	4	3		
	平日に運動する	通勤前に運動する	散歩	3	3		
			ラジオ体操	1	4		
		通勤中に運動する	徒歩通勤	3	5		★
		仕事中に運動する	階段	2	4		
		帰宅後に運動する	筋トレ	3	3		

まずは、期待効果の評価。

最も、効果が高いと評価したのは、「スポーツジム」に通うことです。

ウォーミングアップして、筋トレして、30分くらいランニングマシンで走って、その他、エアロビクス等のレッスンを受講して・・・

もし、ジムでそのように過ごせば、運動量は相当なものになるでしょう。

一方で、15分程度のラジオ体操は、頭がスッキリする効果はあっても、運動量としては大きな期待はできません。

ということで、効果だけを見れば、「ジムに通う」ということを選択したくなりますが、果たして、それが妥当な選択なのでしょうか？

家には、小さなお子さんがいます。

「ジム？ はあ？ 休みの日くらい子供の面倒を見てよ！」

奥さんから、そのような言葉をかけられることが想定されます。

また、家計だって結構厳しい・・・

「もし、ジムに行くならば、月謝は自分の小遣いから出してね！」

もともと、少ないお小遣いですので、その中から捻出するのは、ちょっと難しいです。

「ジムに行きたくても、やっぱり無理・・・」

そんな方も多いではないでしょうか？

対策を選定する際には、「期待効果」とともに、「実行容易性」の評価が不可欠です。

それを評価したのが、前ページの右側の数字。

時間と費用からみて、ジムはせいぜい5点満点の「2」程度の評価。

ちなみに、ゴルフなんて、時間から見ても、費用から見ても「もっての他」でしょう。

だったら、徒歩通勤は？

これまで、最寄り駅から歩いて5分で会社に着いていましたが、わざと一駅前で降りて歩けば30分くらいかかります。

往復だったら1時間。

そこそこの運動量になるでしょう。

時間に関しては、家を出る時間が30分早くなり、戻る時間が30分遅くなりますが、特に問題ではありません。

また、費用に関しては、一切、かかりません。

これだったら、奥さんから文句を言われることは無いでしょう。

ということで、今回のテーマについては、「徒歩通勤」を選択することが妥当と思われます。

ステップ4：実行スケジュールの作成

ステップ3で対策を選定したら、次は、実行スケジュールの作成です。

具体的に、「何を」「誰が」「いつまでに」行うかを明確にします。

(1) 具体的にやるべきことを列挙する（何を）

ステップ3の対策を実践するために「やるべきこと」を更に細かく列挙します。

例えば、上述の「徒歩通勤」であれば、以下のようなイメージです。

- ルート案の検討・・・地図を見て、どこの道を歩くかについて、複数案出してみる
- 試し歩き・・・朝と夕で実際に歩いてみて、歩き易さや、風景などを確認する
- ルート案の決定・・・実際に歩く道を決定する
- 徒歩通勤の実践・・・実際に「徒歩通勤」を始める

(2) 担当者を決める (誰が)

全て、個人で行う場合は不要ですが、会社で分担して行う場合は、担当者を明確にします。

(3) 期限を決める (いつまでに)

それぞれの「やるべきこと」について、期限を明確にします。

対 策	やるべきこと	担当者	スケジュール						
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	
.....	××	■						
	△△		■					
	××			■	■	■		
	××							■

< 次回に続く >